

# 龍ヶ崎市教育大綱

(平成29年度～平成33年度)

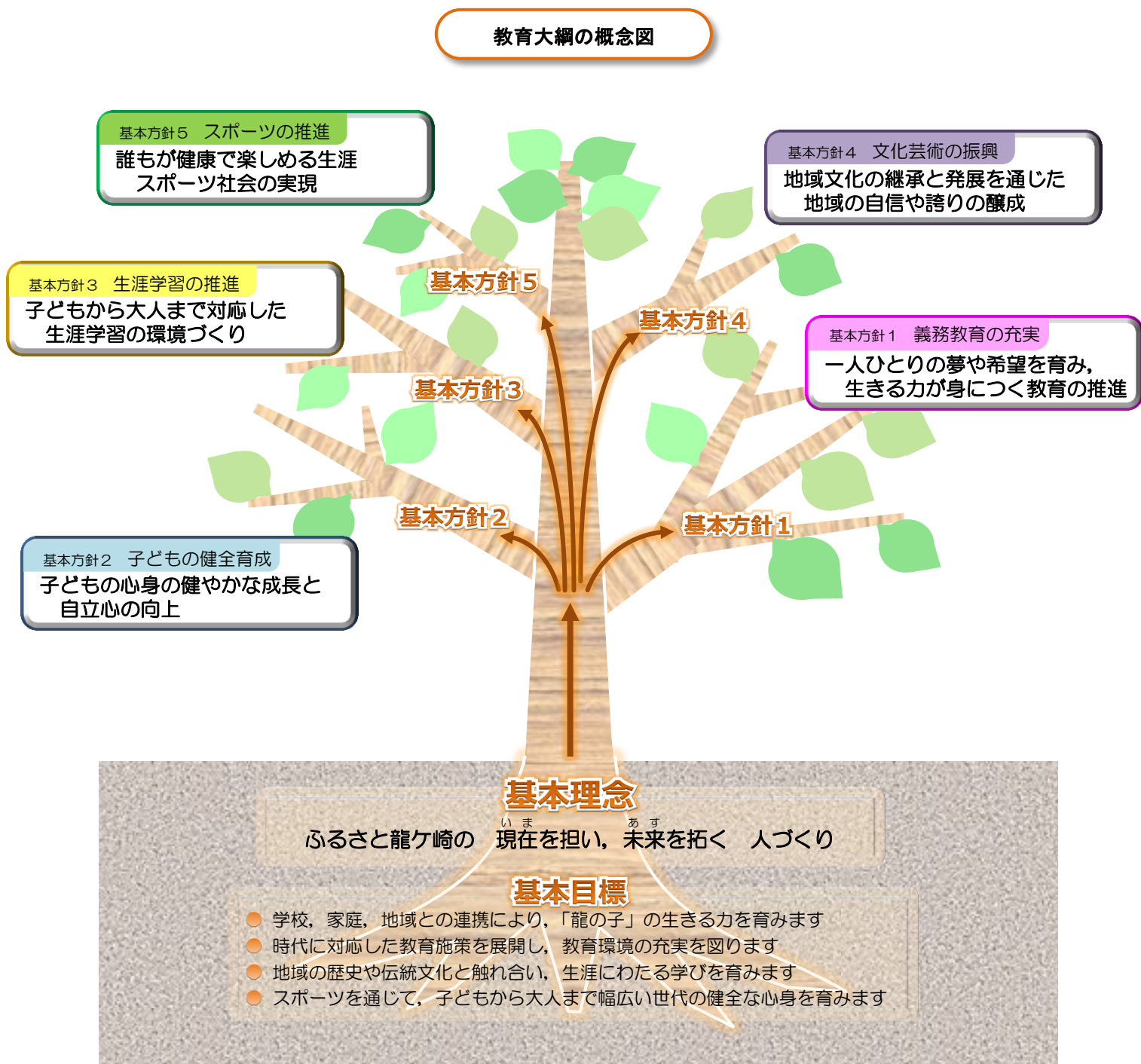
平成28年7月

龍ヶ崎市

龍ヶ崎市教育大綱（以下「教育大綱」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づく「地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」として位置付けるものです。

# 1 龍ヶ崎市の教育の目指す姿

教育大綱は、次に掲げる基本理念のもと、4つの基本目標と5つの分野ごとに基本方針を定めます。



## 2 基本理念

---

教育大綱の基本理念は、本市の教育行政の最も基本的な考え方を示したものです。

### ふるさと龍ヶ崎の 現在を担い、未来を拓く 人づくり

我が国は、今後、少子高齢化とともに急速な人口減少が予測されるなど、これまでに経験したことのない事態に直面しようとしています。また、グローバル化や情報通信技術の発達により、人や物が国境を越えて行き交い、大量の情報が休みなく飛び交うなど、経済環境も大きく変化しています。足元の地域社会に目を転じて、世帯の細分化が進み、地域のつながりが希薄化傾向にあるなど、家族や地域共同体による相互扶助機能の低下が懸念されます。

このように、社会全体が大きな変革期を迎えています。しかも、この変革は当面、とどまることはないと考えられることから、社会の変革に常に柔軟かつ弾力的に対応していかなければなりません。このため、従来にも増して社会や地域の担い手の育成は重要な課題となっており、「教育は人づくり」と言われるように、教育が重要な役割を担うこととなります。

もとより、教育は、教育基本法にもあるように人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われるべきものです。そして、教育の推進においては、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成と、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指すことが重要です。

この教育に関する基本認識を踏まえたうえで、本市における教育行政の最も基本となる考え方を「ふるさと龍ヶ崎の 現在を担い、未来を拓く 人づくり」と定めます。つまり、地域の担い手づくりを「国家百年の計」ととらえ、行政、学校、家庭及び地域住民等が相互に連携協力しながら、命の尊さと人を思いやる心をはじめ、一人ひとりの個性を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、主体的に社会の形成に参画する人づくりを主眼とした教育を推進します。また、生涯にわたって自ら学ぶ多様な生涯学習活動や健全な心身を養うスポーツ活動を促進します。さらに、地域の伝統や文化を継承するとともに、新たな文化活動を促進し、地域アイデンティティの形成にも努めます。

現代を担う私たちは、未来を拓く次世代への責任として、本市における教育行政を総合的に展開します。

### 3 基本目標

---

教育大綱の基本目標は、基本理念の「<sup>いま</sup>現在を担う人づくり」及び「<sup>あす</sup>未来を拓く人づくり」を踏まえ、以下の4つを定めます。

- 学校、家庭、地域との連携により、「龍の子」の**生きる力**を育みます
- 時代に対応した教育施策を展開し、**教育環境の充実**を図ります
- 地域の歴史や伝統文化と触れ合い、**生涯にわたる学び**を育みます
- スポーツを通じて、子どもから大人まで幅広い世代の**健全な心身**を育みます

#### 生きる力

市民一人ひとりの教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会の連携を図るとともに、教育の取組を協働で進めることで、「龍の子」の生きる力を育みます。また、生きる力を育む中で、未来を拓くための原動力の一つとなる、基礎的・基本的な学力の向上を図ることで、自ら学び考える力も育みます。

#### 教育環境の充実

グローバル化及び情報化の進展など、新しい時代に対応した小中一貫教育の推進など教育環境の充実を図り、「龍の子」の学習意欲を育み、自主性や社会性の向上を図ります。

#### 生涯にわたる学び

市民一人ひとりが人生を豊かで実りあるものとするため、生涯にわたる学びを育みます。また、長い歴史の中で育まれた「ふるさと龍ヶ崎」の伝統や文化と触れ合う中で、地域への愛着や誇りの醸成を図るとともに、伝統や文化、及び本市を代表する文化財などを次世代に継承します。

#### 健全な心身

市民が楽しく健康的な生活が送れるよう、スポーツを通じて、子どもから大人まで幅広い世代の健全な心身を育みます。さらに、スポーツの交流を通じて、人と人との交流を促進します。

## 4 基本方針

---

教育大綱の基本方針は、基本目標を達成するため、5つの分野ごとに定めます。  
また、それぞれの基本方針ごとに、主な取組項目を示します。

### 基本方針1 義務教育の充実

#### 一人ひとりの夢や希望を育み、生きる力が身につく教育の推進

- これからの社会を見据え、児童生徒一人ひとりが「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」など、いわゆる「知・徳・体」をバランスよく兼ね備えた「龍の子」の生きる力を育みます。
- 学力の向上のため、きめ細やかな学習指導の実施、外国語活動の充実、教職員への授業力向上のための研修及びICTの活用を促進し、学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着を図ります。
- 体験学習などを通し、命の尊さの理解を深め、人を思いやる心や人に感謝する心を育みます。
- 義務教育である9年間を見据えた小中一貫教育など、新しい学校づくりを推進することで、「龍の子」が楽しく学び、自主性や社会性を育むための教育環境の充実を図ります。
- 幼稚園、保育園、小学校及び中学校のほか、高等学校及び大学がある本市の教育環境の特色を生かし、幼・保・小・中・高・大の連携による教育環境の充実を図ります。
- 障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向けた特別支援教育を推進します。
- 選挙権年齢の満18歳以上への引き下げを踏まえ、国や地方の政治などに積極的に参加する主権者教育を推進します。

## 子どもの心身の健やかな成長と自立心の向上

- 子どもの健やかな成長に必要な家庭教育の充実のため、各種セミナーや相談体制の充実を図ります。
- 人格形成において重要な時期である幼児期に着目し、幼稚園・保育園の支援をはじめ「小1プロブレム」の解消などのため、幼・保・小の連携など幼児教育の充実を図ります。
- 保護者の就業形態の多様化などに伴い、小学生の放課後などにおける対応も年々重要度が増していることから、「学童保育」などによる安全・安心な居場所づくりに加え、学習支援事業の取り組みなどにより、子どもが育つ環境のより一層の充実を図ります。
- 子どもたちが健やかに成長できるよう、家庭、地域、学校などの連携強化を促進し、放課後の有効活用を図ります。また、地域ぐるみ（オール龍ヶ崎）での見守り支援や、地域住民などとの様々な交流を通じて、子どもたちの自立性を養います。
- 補習学習及び学校内外で多様な学習機会を提供することで、学力の向上や経済的理由などに起因する学力格差の解消に関する施策を総合的に推進します。

### 基本方針3 生涯学習の推進

## 子どもから大人まで対応した生涯学習の環境づくり

- 知的活動及び日常的活動の拠点である中央図書館の機能向上を図るとともに、多様な学習機会の充実を図ります。
- 文化会館，歴史民俗資料館及びコミュニティセンター等で各種講座や体験教室を実施します。さらに，流通経済大学との連携により，市民講座等の充実を図ります。
- 幅広い年齢層に学習機会を提供し，健幸<sup>1</sup>な長寿社会の形成に寄与するとともに，参加しやすい生涯学習の環境づくりを推進します。
- 自分の技術や知識を生かし，社会や地域へ貢献するなど，生きがいづくりや市民相互の交流を促進します。
- 人権に関する理解を深め，すべての人々の人権を尊重し，互いに認め合うことの大切さを学び，身につける人権教育・啓発を推進します。

---

<sup>1</sup> 健幸：健康かつ生きがいを持ち安心安全で豊かな生活を営むこと



### 地域文化の継承と発展を通じた地域の自信や誇りの醸成

- 地域に根付いた文化芸術の継承を図るとともに、歴史の掘り起こしや、新たな文化芸術活動の振興を図り、市民の主体的な文化芸術活動を促進します。
- 文化財などに、触れ、学ぶ機会の充実により、地域の魅力や特徴の理解を深めるとともに、郷土学習を推進します。
- 地域の伝統芸能や祭りなどへの参加と学びを通じて、地域への愛着を深めるとともに、ふるさと意識の醸成を図ります。
- 指定文化財の保護や市民遺産の充実を図ることで、文化財を活かした観光及び散策による健康増進など政策間で連携したまちづくりを進め、まちの活性化やにぎわいの創出に向けた取組を推進します。

## 誰もが健康で楽しめる生涯スポーツ社会の実現

- 流通経済大学や総合型地域スポーツクラブと連携した特色ある事業により、子どもから高齢者、障がい者など、あらゆる人々のスポーツニーズに対応した施策を推進するとともに、トップアスリートの育成や競技力の向上を図ります。
- スポーツを楽しんだり、健康づくりを進めたりする場や機会の充実のため、総合運動公園施設の充実と積極的な活用を促進します。また、市民一人ひとりがスポーツを「する」「みる」「ささえる」の楽しみをひろげ、それぞれの年齢やライフスタイルに応じた生涯スポーツ社会の実現を目指します。
- ラグビーワールドカップ日本大会、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致に取り組み、子ども達をはじめ、より多くの市民が世界のトップアスリートと触れ合う機会を創出します。さらに、茨城国体を契機とした生涯スポーツの推進や活性化を図ります。

